

オプション検査のご案内

当院で用意させていただいているオプション検査一覧です。

既に健診コースに含まれている場合もありますので、ご不明な点はお尋ねください。

なお、人数制限や準備が必要な検査もありますので、基本的に**事前予約**をお願いいたします。

※予約状況や検査の種類によっては、受診日当日の追加が難しい場合がありますので予めご了承ください。

2019年10月1日受診分より適用

検査項目		料金（税込）	検査でわかること	
血液検査	1 ABC検診	3,260円	ペプシノゲン（Ⅰ・Ⅱ）の検査と、ピロリ菌抗体検査を組み合わせ、胃がんの発生リスクを調べる検査です。	
	2 AFP	1,230円	主に、肝臓がんで高値になることがあります。肝硬変、慢性活動性肝炎、胃がん、すい臓がんなどでも高値になることがあります。	
	3 腫瘍マーカー	CEA	3項目セットで 3,160円	CEA、CA19-9は胃がん、大腸がん、胆道がん、すい臓がん、肺がん、卵巣がんなどで高値になることがあります。PSAは前立腺がんになると高値に、また、前立腺肥大でも高値になることがあります。CA125は卵巣がんになると高値に、また、卵管がん、すい臓がん、大腸がん、子宮頸部がん、子宮体部がん、子宮内膜症、子宮筋腫、腹膜炎、急性すい炎などでも高値になることがあります。
		CA19-9		
		PSA（男性）		
		CA125（女性）		
4 BNP（バンプ）	1,530円	心電図・胸部レントゲンなどで異常が見つからない『隠れ心不全』の方に有効な検査です。心臓機能が低下すると分泌されるホルモンを測定することで、早期に心不全の疑いをかけることができます。		
5 肝炎ウイルス検査 (HBs抗原・HCV抗体)	1,630円	B型肝炎、C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べる検査です。感染すると、肝臓病を引き起こす原因となります。		
6 甲状腺（TSH・FT4）	2,860円	甲状腺の働き（亢進症・低下症）がわかります。異常値の場合、主に慢性甲状腺炎（橋本病）、バセドウ病などが疑われます。		
婦人科検査	7 マンモグラフィ(2方向)のみ	5,200円	乳がんの検査です。専用の機械を使って乳房を上下・左右に挟み、レントゲン撮影により腫瘍、石灰化などの有無を調べます。	
	8 子宮頸がん細胞診・内診 ※外部での検査となります	8,800円	子宮頸がんの検査です。子宮の入り口付近の組織を採取し、異常の有無を調べます。	
CT検査	9 頭部CT	各16,200円	人体に様々な角度からX線をあて、コンピュータ処理された輪切りの画像により異常があるかどうかをみる検査です。 頭部CT…脳梗塞、脳出血、脳腫瘍など 胸部CT…肺がん、肺炎、結核、肺気腫、気胸、胸水の有無、胸部大動脈瘤など 腹部CT…肝臓がん、肝硬変、胆石、すい炎などがわかります。	
	10 胸部CT			
	11 腹部CT			
	12 内臓脂肪CT	3,260円	X線を使って腹部の状態を画像化し、内臓脂肪、皮下脂肪の量を調べる検査です。	
その他検査	13 腹部超音波	5,810円	肝臓、胆のう、すい臓、腎臓、脾臓の異常を調べます。なかでも、胆石、早期肝臓がんの発見に有用です。X線のように放射線被曝の心配がなく、痛みもなく安全に検査できます。	
	14 肺機能検査	1,020円	思いきり息を吹き込んだ時の肺活量や、一秒でどれだけ息を吐き出せるかなどの検査により、肺の大きさ、働き、気道の広さなどを調べる検査です。喫煙者の方は検査をお勧めします。	
	15 喀痰検査	3,160円	痰を採取して、その中に病的成分が含まれていないかどうかを調べる検査です。咳、痰がよく出る、喫煙者の方などにお勧めします。1日のたばこの本数×吸った年数=600以上になる方は検査をお勧めします。	
	16 眼底	1,230円	眼底カメラによって瞳孔から網膜を撮影し、眼底を観察します。眼底の血管の状態をみることで、目の病気だけでなく動脈硬化や高血圧、糖尿病などの異常を知ることができます。	
	17 眼圧	920円	眼球に圧縮空気を一瞬当て、目の中の圧力を測定する検査です。緑内障などの異常を知ることができます。	
	18 骨密度測定	3,060円	専用の機械を使い、骨の強度（密度）を測定し、骨粗鬆症の診断につなげます。特に女性は、閉経後女性ホルモンであるエストロゲンの減少で骨粗鬆症の発症率が高くなりますので注意が必要です。 (※H30年度より「腰椎」と「大腿骨」2部位を撮影しております)	
	19 便検査（便潜血2日法）	820円	便を採取して、その中に血液が含まれていないかどうかを見る検査です。陽性になると、大腸がん、大腸ポリープが疑われます。	
	20 動脈硬化検査 (血管チェック)	1,530円	足の動脈の狭窄や閉塞を調べる検査で、動脈硬化の進行の判定に役立ちます。40歳以上の方で、高脂血症・高血圧・肥満・喫煙・手足のしびれ・冷感、また糖尿病のある方は要注意です。	

※検査結果については、受診者ご本人および、会社宛の結果にも記載されますのでご了承願います。